

防振架台仕様書

型式	
機器	
現場名	
系統名	
架台質量	△ 49 kg
防振材(コイルスプリング)	NS141-100 2.13[kgf/mm] 6 個
上ベース	□60x30xt3.2 21.6 kg
下ベース	□60x30xt3.2 21.9 kg
耐震ストッパーボルト	M16 4 本
耐震基準	水平 2.0 G, 鉛直 1.0 G
表面処理	溶融亜鉛めっき HDZT63

適用地域 重塩害地域

<付属品>
 機器固定ボルト 溶融亜鉛めっき
 M10x70L (平W, 角W, NTx2付) 6 組

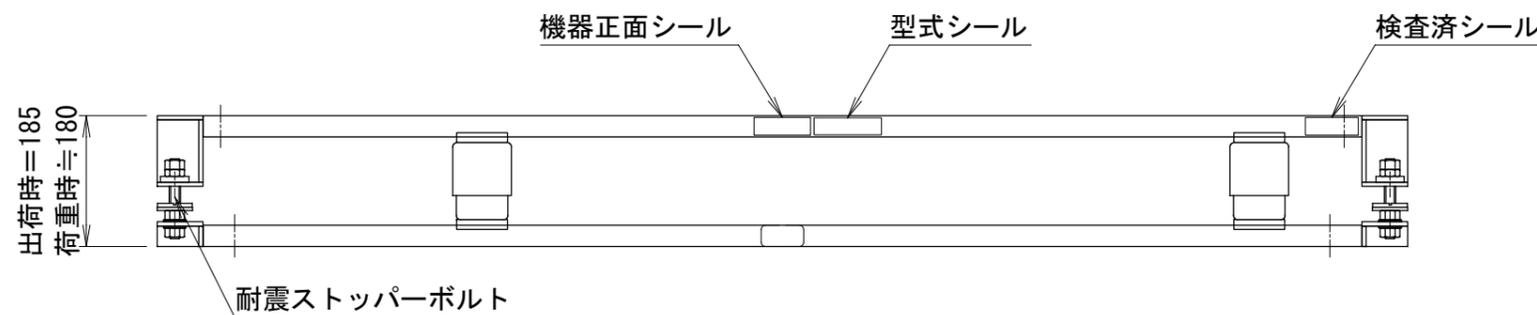
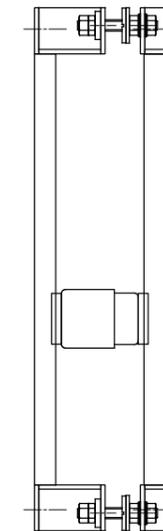
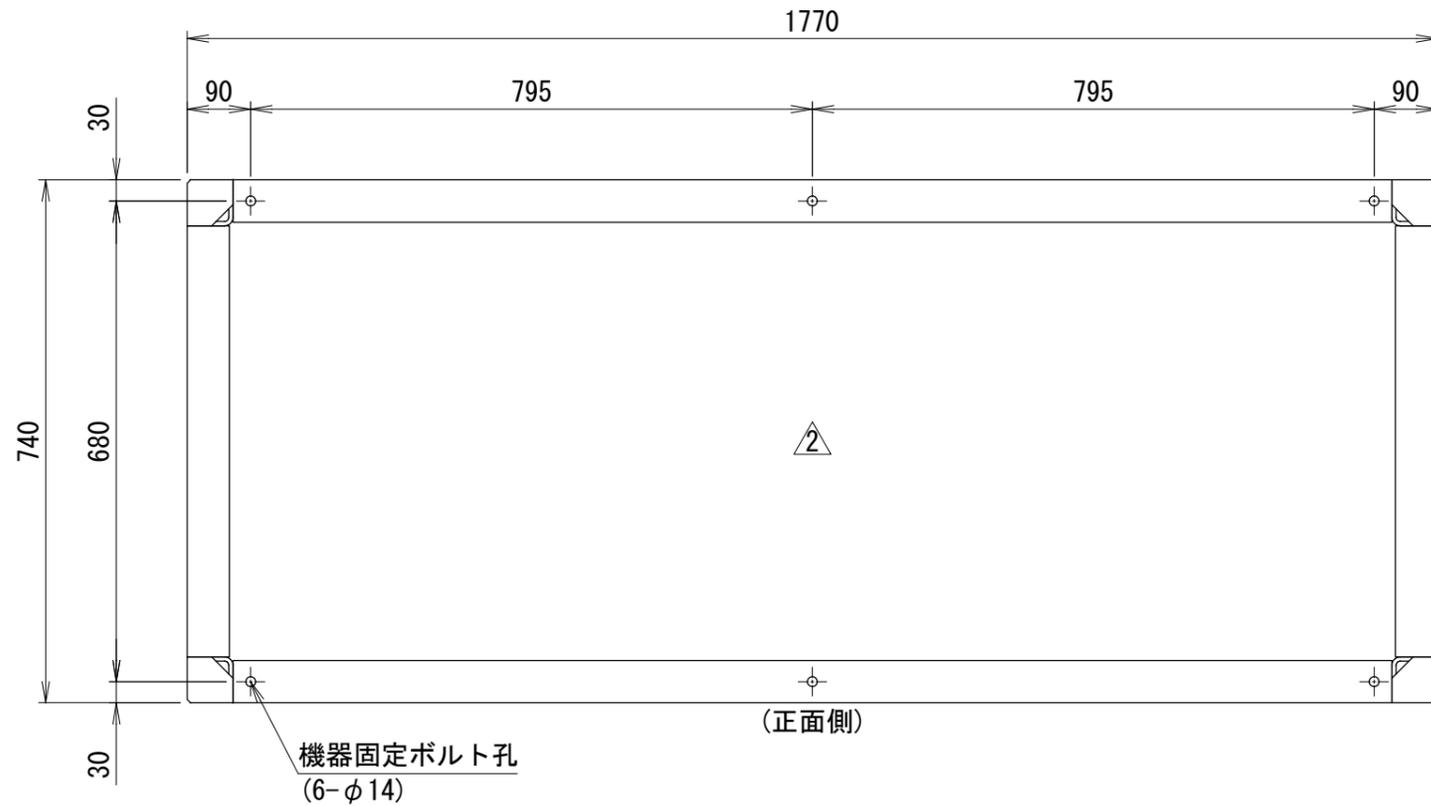
<備考>

番号	日付	改訂記事
△1	'20.09.17	図枠更新
△2	'21.03.31	上ベース中棧削除
△3	'23.08.29	図枠更新

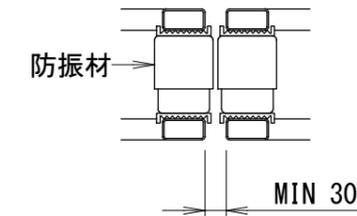
発行日	承認	設計	作図
'19.05.30	加納	内野	内野

ネミー株式会社

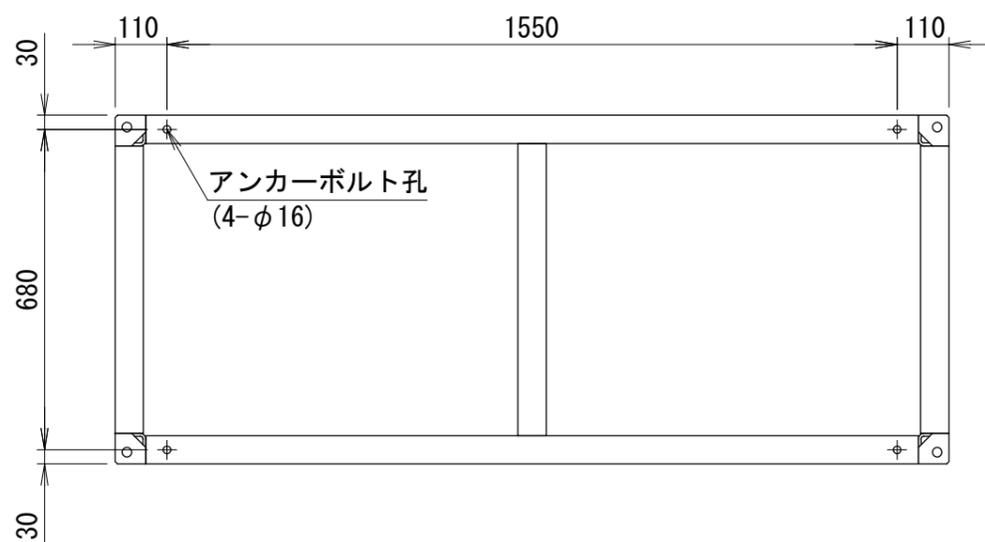
図番 1-MDB646#E2-H



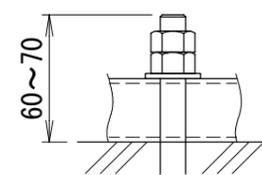
<架台の隣接>
 防振架台同士を隣接する場合は
 防振材の干渉を避けるために
 30mm以上の離隔を確保してください。



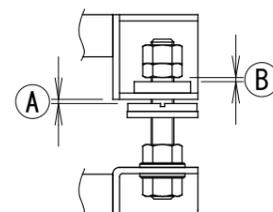
<アンカー寸法図> SCALE= 1:15



<アンカー>(参考)
 接着系アンカー(M12)
 有効埋込: 90mm以上



<ストッパー>



<注記>

- 架台の据え付け
据付面の水平を確保願います。
不連続基礎や鉄骨への設置では支持面積を極力
広くしてください。
- アンカーボルトは含まれておりません。
先様にてご用意ください。
- 防振材の初期配置は理論上のものです。
状況に応じてレベル調整をお願い致します。
レベル調整は防振材の移動で行います。
- ストッパーの調整
機器設置後に左図 (A) (B) 共に1~2mm程度
隙間を開けてください。
- 品質改善のため製品の仕様は予告無く変更する
場合があります。